

亜細亜美術協会ニュース

編集発行責任者：一般社団法人亜細亜美術協会 理事長 高田 哲雄

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-2-10 3F

TEL・FAX 0422-27-5789 HTTP://agenten.jp/



東京都美術館正門から見た亜細亜現代美術展会場

目次

- ◆ 第58回展を振り返って P1
- ◆ 受賞者の言葉 P2~3
- ◆ 展覧会講評 (ゲスト審査員) P3
- ◆ 呂忠平先生によるワークショップ P4
- ◆ 同人の展覧会報告 P4~10
- ◆ 令和6年展覧会予定 P10
- ◆ 事務局からのお知らせ P11

編集委員長 遠山 正四

編集委員 村井利枝子 高田哲雄

第58回展を振り返って

謹んで新春のお祝いを申し上げます。

去年は同人の皆様、出品者の皆様、そしてご支援をいただきました内外の方々のご協力により第58回亜細亜現代美術展を盛大に達成できましたことをここに改めて御礼申し上げます。



昨今における新型コロナ対策の結果、リモート・ワーク化が効率的な社会変革を誘発した一方で、人と人が互いに寄り添える「人間らしい社会」が過ぎ去ることを懸念しております。一方、私達の亜細亜美術協会は“芸術表現”という五感に訴える直接伝達を主としており、最も「人間らしい精神」を享受する場であると自負しております。本年もさらに世界へ向けて発信するべく力を合わせて前進していきましょう。飛躍の1年になることを祈念して、私からの年頭の挨拶とさせていただきます。

亜細亜美術協会 理事長 高田哲雄



受賞者の言葉

「2023KOMINKA STORY」アクリル S60

亜細亜大賞 ユンソベ



第58回アジア現代美術展受賞者皆様おめでとうございます。今回のコンテストでグランプリをいただきまして、無限の光栄と思えます。40余年前から多くの韓国作家が参加して来ましたが、参加した多数が現在韓国画壇をリードしている権威ある公募展であります。コロナへの展示が縮小されることもあり、時代の流れの中で変化を求める時期となりました。

私たち皆様が努力して多くの応募参加と良い作品の両方を兼ね備えたコンテストになることを願っています。私は2012年から参加し、韓国と日本、中国、アジアの作家との交流をしてきました。言語と文化、政治を超えて芸術という求心点一つで、それぞれの芸術世界を比較分析発展していきました。高田理事長以下執行部全員に感謝します。今後も精進しこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

「マジックアワー・石垣島」日本画 S50 文部科学大臣賞 竹内 郁子

この度は、文部科学大臣賞をいただき誠に光栄に思います。

世間では、災害・紛争と暗いニュースが続く暗澹たる気持ちとなります。そこで明るくなれる様な絵を描く事としました。南国のマジックアワーを、強く逞しく生きる野生のアダンの実と共に描く事としました。

日本画の絵具は色相がやわらかく暖かく感じられるので、空と海が赤く交じったような時間帯を表現するのにとても合っていました。色彩を濁らせないように色合わせをする事に苦労しました。良い評価をいただきとてもうれしいです。

最後になりましたが、日本画の表現を手解きいただいた中畠先生に心から感謝致します。又、文化活動を運営する事がとても困難な中、亜細亜展を進めて行く為にご尽力いただいた先生方に心から敬意を表したいと思います。



「追憶」ガラス 18 × 16 × 16 南京市博物館賞 本田佐由里

一般的に言ってアートとは個人から生み出されるものではありませんが、時にはその時代や社会環境に大きく影響を受ける時があるように思います。近頃世界はやっと落ち着きを取り戻し、人との接触に必要以上に神経を遣うことも少なくなったものの、数年前の私達の世界ははひどく閉鎖的な状況に置かれていました。また個人的にも私の置かれた家庭環境は様々な困難を抱え、私の眼差しは常に内なる世界へ向けられていた様に思います。そんな外界から切り離された世界の中で私が目にした数々の歴史書やデザイン、そしてそれらを通して出会ったモノ達。そこに込められた苦い思い。そんな数々の思いをガラスという素材を通して形としてこの世界に生み出そうとした時、その苦しさは悲しみにも似たナニかに昇華されていったような気がします。私の手から生み出され形となった作品の中にほのかな光を見出した時、私の魂の中にも小さな喜びの火が灯ったような気がしました。タイトルの『追憶』とはそのような私の思考と感情の過程からつけられたものです。今回の美術展をはじめ、亜細亜美術協会の作家の個性的な数々の作品を拝見し、色々な学びを頂きながら今後とも精進したいと思っております。どうぞ宜敷くお願い致します。



「ムカイカゼヲ ウケナガラ」テラコッタ

38 × 80 × 45

アジア環太平洋美術協会賞 加藤タエコ

思わぬ賞を頂きまして、ありがとうございました。この地に引っ越ししてから20年以上になり、無農薬で野菜作りをしたり、他あれこれと忙しい生活です。落ち着いて制作出来る時間も少ないので、自然と接しながら観察し、浮かんで

きたイメージなど、出来るだけ種々ことを、メモに書き留めています。実際に粘土の制作に入ると、すんなりゆく場合と、思わぬ抵抗にあったり、やはり素材と対話しながら制作してゆくことが大事かと思えます。その後、焼成があるのですが、終わるまでは気が抜けない感じです。今は世界的に混迷していて、苦しんでいる人々も多いかと思えます。こうして少しでも表現できることは、とても大切で有難いことだと感じています。最後に、亜細亜美術協会の人たち各々が、身体に気をつけて、これからも充実した仕事が出来ますようお願いしています。

1. 文部科学大臣賞「マジックアワー・石垣島」竹内郁子 に対するコメント



正方形の画面の下半分にアダンの黄色い実と緑の葉を描き、上方には色彩豊かな空を背景に島影を捉えた。日本画により色の帯を横に積み重ねる様に配し、南国の空気の澄明感を表出した。青い海の寒色と空のオレンジや黄の暖色を一体化させ、南の島の情景を表現した秀作。（評：清水）

2. 東京都知事賞作品「花のある部屋」安藤正之 に対するコメント

祝祭の心持ちが、華美に過ぎることなく、堅固な構成による落ち着き（安定）感のなかに、壁も含めて花々と果物の潤いある彩調が心に沁み入ってくる。

花と果物の二つのポイントを蔓の配意によって画面全体に調和（統一感）をつくっている。

再来年は60回で、会長先生が20歳から出品した回数になるのではないかと思います。人生の大事なことが全部が60年だと思います。40歳の人はまだまだ半分しか行ってない。これから40年あるわけですから、これからも世界を変えるでしょうし、絵は答えがないですから。

上手いと言ったって旨さを狙うのでしたら、それこそいくらでも上手い人はいます。じゃー、中身で勝負、中身は比べてもしょうがない、自分を鼓舞するしかない。他人と比べてもしょうがない。

ですから、主に生きていることが全部絵になっていて絵が少しでも味が生まれたり、深みが生まれたり、香りがしたりするのだらうと思います。そんな意味でも、日々大事に私も生きたいなと思っています。皆様の益々のご活躍と健康を祈念しております。

今日は、おめでとうございます。

（評：中野）



呂忠平先生による「書・水墨画実演」ワークショップ

参加者数は、9月28日は、約30人、10月1日は、約50人でした。呂先生は、参加者が希望する文字を聞くと、それを色紙に書いたり、水墨画を描いたりして、プレゼントしていました。プレゼントされた参加者は、とても喜びながら呂先生と一緒に記念写真を撮って交友を深めていました。



同人の展覧会報告

亜細亜小作品展

会場：東京芸術劇場 B1F アトリエ ウエスト

会期：2023年1月24日（火）～1月29日（日）、主催：亜細亜美術協会

【結果報告：出品者数（22名）、出品数（26点）入場者数（214名）】



中 鷲 虎 威 展

会期：4月3日～8日

会場：画廊宮坂

日 彫 展

会期：2023年4月19日～5月2日

会場：東京都美術館、

出品者：会友 高曠寓（初入選）



「浄土ヶ浜」日本画

第 21 回 「アートグループ点・線・面」展

第21回「アートグループ点・線・面」展
会派をこえて独自の世界を求めている作家の発表

栃木県総合文化センター2F 第3ギャラリー
[宇都宮市 県庁前] 宇都宮市本町1番8号 ☎028(643)1000

2023年4月21日(金)～4月24日(月)

午前10時00分～午後5時30分
初日は12時からです
終日は午後4時まで

—— 後援 ——
栃木県文化協会

安藤正之
猪瀬淑子
江面キヨ
大森弘
大出義雄
金田卓
木村太子
世岡敏子
島田武郎
橋本千津子
羽田君司
溝口彰子
湯澤幸子
渡辺里菜

代表 大森弘
事務局:副代表
島田武郎(方)
小山市関々田2454-33
TEL:028-4474-1222

会期：4月21日～4月24日 会場：栃木県総合文化センター 2F 第3ギャラリー

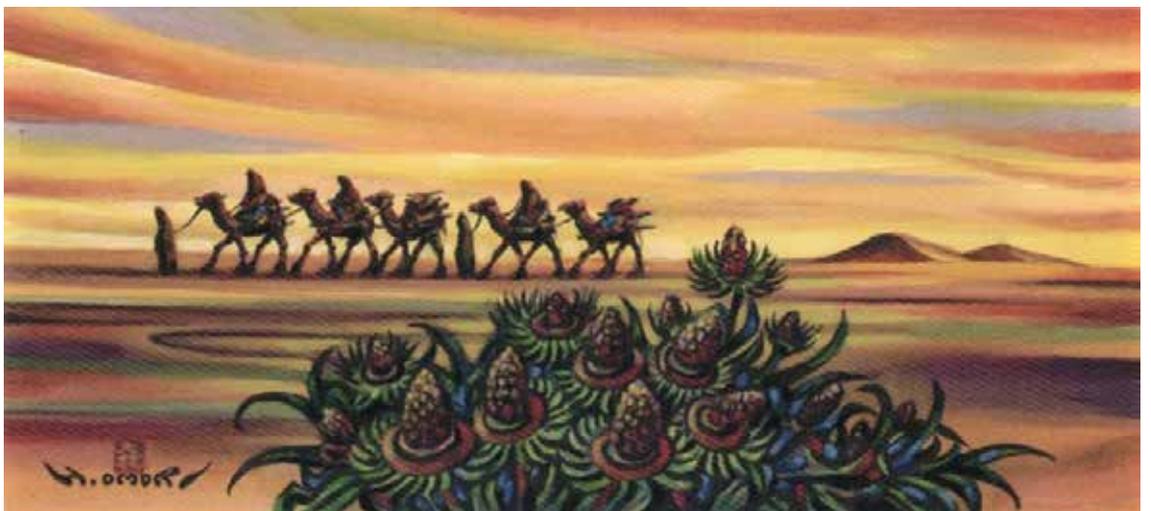
出品者：大森弘名誉会長、湯澤幸子理事、安藤正之常任委員、笹岡敏子会友

他10名

大 森 弘 作 品 展

会場：街のギャラリー famille（ファミリーユ）

会期：5月26日～5月30日 回想シルクロード 「砂漠の花とキャラバン」



「愚図展」PART 36

会期：2023年5月28日～6月3日

会場：ギャラリー パールルーム
(東京交通会館 1F)、



出品者：阿部軍吉名誉監事（左作品）、小椋紫仙展覧会部長（右作品） 他3名

国際スケッチ大会及び古民家美術館飯岡展示会

ユンソベ理事が主催し、韓国の芸術家と日本の芸術家がともに寄り集う相互交流の場として【国際スケッチ大会】が開催されました。亜細亜展出品者の作家が参加。
期間 6月14日～17日 会場 古民家美術館飯岡



【国際スケッチ大会に参加して】小椋 紫仙 6月11日、千葉県旭市に於いて日韓友好の写生大会が行われた。亜細亜より高田理事長他5名が参加、韓国からも12名参加の中、歓迎会での日韓パフォーマンスや2日目の船上写生会や作品展示などとても有意義なものとなりました。

これからも亜細亜のキャッチフレーズのように「亜細亜から世界へ」と多国の方達と交流を深めながら、素晴らしい芸術が生まれる事を願っております。

2023 第 7 回年アジア環太平洋美術大賞展

会期：2023年7月12日（水）～18日（火）会場：ソウル仁寺アートプラザ
出品者：高田 哲雄、呂 忠平、中畠 虎威、湯澤 幸子、安藤 正之、一政 弘樹
宗雪 孝夫、以上7名、出品数：7点 入場者数：約500人



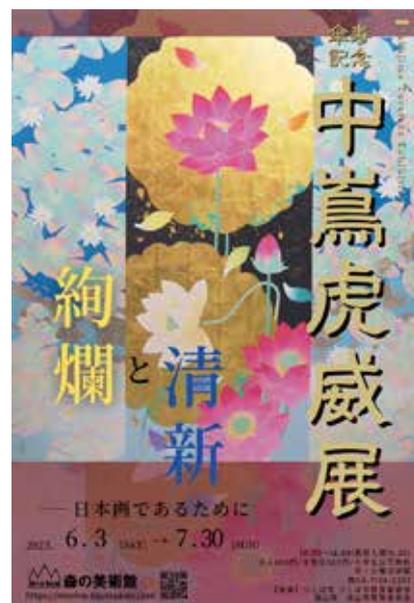
ユン・ソベ 個展

2023年7月22日（土）～8月27日（日）
場所 Seed Gallery（千葉県旭市口 897-8）
タイトル YOON SOBE Solo EXHIBITION
KOMINKA STORY



傘寿記念 中鳶虎威展

会期：6月3日～7月30日 会場：森の美術館



30周年記念「游美会日本画展」

会期：6月27日～7月2日 会場：茨城県つくば美術館

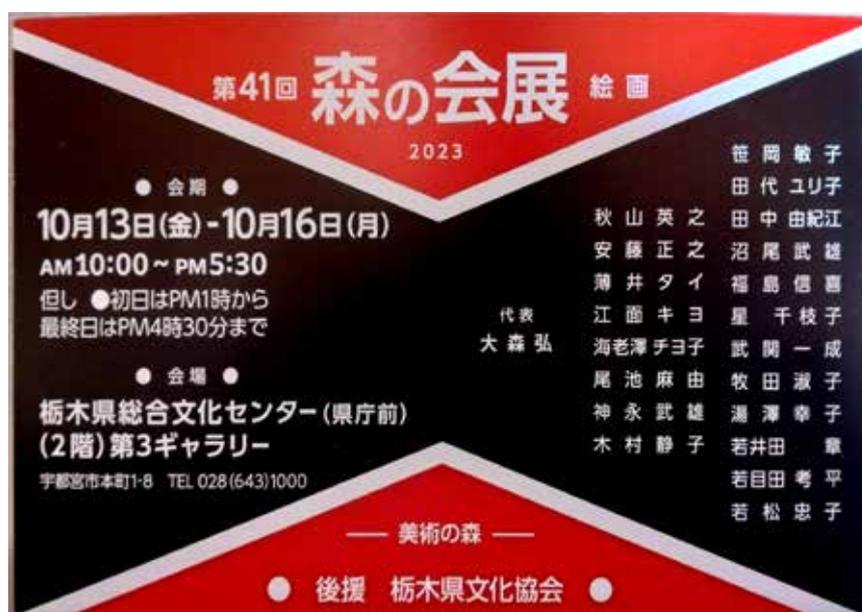
出品者：竹内郁子常任委員、平野純子 常任委員、小野村幸子委員
岡田悦子委員、榊由佳会員 他22名

第41回「絵画 森の会展」

会期：2023年10月13日
～16日

会場：栃木県総合文化センター
ー2F 第3ギャラリー

出品者：大森弘名誉理事、湯澤幸子理事、安藤正之常任委員、田代ユリ子常任委員、海老澤チヨ子会員、福島信喜会員、笹岡敏子会友、木村静子会友、若井田章会友 他12名

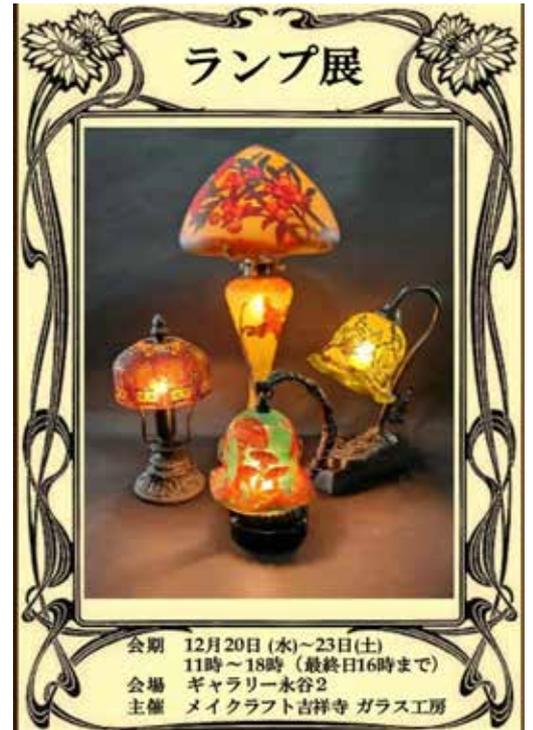


ランプ展

会期：2023年12月20日（水）～23日（土）

会場：ギャラリー永谷2、主催：メイクラフト吉祥寺ガラス工房

出品者：村井利枝子、渋谷穆子、柏木真菜
本田佐由里、他



令和6年度展覧会予定

●日中韓友好上海展 (2024 ASIA ART EXHIBITION IN SHANHAI)

開催予定 会期：2024年5月下旬予定。 会場：呂忠平美術館
上海市松江区

出品者：呂忠平中国作家、韓国作家、 亜細亜美術協会 同人

●第59回亜細亜現代美術展

会期：2024年9月28日（土）～10月5日（土）

申込期限：8月31日（土）

搬入日予定：9月15日（日） 搬入場所：東京都美術館地下3F

●第17回亜細亜アート展

第59回亜細亜現代美術展と同時開催

搬入方法についてはWEB・チラシで告知します。

【事務局からのお知らせ】

《第 58 回亜細亜現代美術展結果と来年度目標》

- 第 58 回展出品者数：122 名、出品数：145 点、入場者数：1,706 名
- 第 59 回展の達成目標（出品者 130 名以上、出品数 150 点以上）
- 来年度目標の出品数をめざし、皆様のご活躍と共に、事務局も精一杯励んで参ります。

《新事務局長就任のお知らせ》

この度、新たに村井利枝子理事が事務局長に就任しましたのでお知らせ致します。

《本部・事務局移転のお知らせ》

事務局は 2023 年 12 月 1 日より吉祥寺に移転致しました。

サポートを行います事務局は吉祥寺となりますが、皆様に親しまれる事務局をめざしていきたくと考えておりますので、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

●本 部（所在地）

〒 181-0005 東京都 三鷹市中原 1-21-19 小椋 紫仙 方

●事務局（所在地）

〒 180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 2-2-10 3F

TEL/FAX：0422-27-5789

E-Mail による問い合わせ先：asia3art@js7.so-net.ne.jp

尚、平時は吉祥寺事務局にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

- 2024 年度会費について（3 月までの納付にご協力お願いします。）
- 2024 年度総会（3 月に実施します。会員以上の参加をお願いします。）
- 皆様のご意見、ご希望を会の運営に活かしたいと思っておりますので、ぜひお寄せください。（事務局へ、FAX、郵送、または、メール）